

第19回介護福祉士 国家試験 問題・解説（やまだ塾）

＝⑫介護技術＜事例③＞＝（問題92～問題94）

【介護技術】

（介護技術・事例問題1）

次の事例を読んで、問題92から問題94までについて答えなさい。

（事例）

Hさん（84歳，女性，要介護3）は，長年一人暮らしをしてきたが，腰椎圧迫骨折による腰背部痛の悪化により在宅での生活が困難となって，5年前に介護老人福祉施設に入所した。1年ほど前から認知症が出現した。また，ゆっくりしたペースであれば，歩行器を使用して歩いていたが，次第に歩行時に足関節の痛みを訴えるようになり，痛みが強いときには車いすを使用しての移動となった。痛みの訴えは，歩行時のみならず夜間や人手の少ないときに多くなってきた。最近では日中でも「今は夜中だから」，「痛くなると困るから」と言い，行事などへの参加も減ってきている。また，食事動作は徐々に不安定になり，食事の途中で介助を求めるようになってきているが，外食のときには最後まで自分で食べることができている。入浴は見守りが必要ではあるが，シャワーチェアを使って自分のペースで行っている。排泄はトイレまで行っていたが，間に合わないことが多くなってきた。

家族の面会はほとんどない。認知症も進行してきているようだ。

問題92 Hさんのアセスメントに関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

1. 排泄の失敗は，移動能力の低下だけでなく，認知症の進行も影響していると考えた。
2. 夜間や人手の少ないときに痛みの訴えが多くなってきたのは，単なる痛みだけでなく不安感が大きくなってきたことによるのでないかと考えた。
3. 施設外で最後まで自分で食べることができたのは，環境の変化と好きな食べ物を選ぶことができたためと考えた。
4. 食事動作が不安定になってきているので，全介助に切り替える必要があると考えた。
5. 行事への参加の減少は，痛みに対する不安と認知症の進行によるものだと考えた。

問題93 足関節に痛みのあるHさんへの移動の介助に関する次の記述のうち，適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 痛みと歩行状態との関連は少ないと判断し，積極的に歩かせる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- B. 痛みが起きないように、車いすだけの移動にする。
- C. 痛みの状態をよく観察する。
- D. 歩行の介助の注意点を医療職に確認する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題94 Hさんの介護に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 排泄のリズムを観察し、定期的にトイレまで誘導する。
- B. 排泄の失敗が多くなってきたため、おむつの使用を開始する。
- C. 歩行が不安定になってきたため、入浴時には転倒しないように注意する。
- D. 認知症の進行を防止するためにも、家族に面会に来るよう働きかける。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○